

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月9日

【評価実施概要】

事業所番号	3771400458
法人名	悠悠有限会社
事業所名	悠悠せんねん村
所在地	香川県高松市香南町西庄692番地1 (電話) 087-815-8522

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成19年8月30日	評価決定日	平成19年10月9日

【情報提供票より】(19年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年3月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	8人、非常勤 10人、常勤換算 13.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺造り 2階建ての1階部分
------	---------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	日額 950円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250円	昼食	400円
	夕食	450円	おやつ	100円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	2名	要介護2	5名		
要介護3	10名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 82.8歳	最低	73歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	しげなり病院、高松平和病院、生協へいわ歯科診療所、キナシ大林病院
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは田園地帯の丘陵地にあり、地域の民家との繋がりを感じられる環境に位置している。広い敷地内のホームの北側には果樹園や花壇を設け、四季の移り変わりを感じられる工夫をしている。

代表者及び管理者・職員はホームの理念を基に、利用者のその人らしい生活支援に向けて一丸となって取り組んでいる。その結果、利用者の表情が自然で安心して過ごされている。また、認知症高齢者グループホームと地域との繋がりを重視した交流を行っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では、ケアサービス分野の緊急マニュアルでの改善課題があったが、管理者及び職員が課題を共有し、独自の緊急マニュアルの整備を図っている。また、改善課題に対して具体的に改善するなど、意欲的に取り組む姿勢がうかがえる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者及び職員が、自己評価・外部評価についての学習をする等、前向きに取り組んでいる。今後、改善が必要な項目についても検討していこうとする意欲がうかがえる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2か月ごとに開催しており、ホームの説明や状況の報告、意見交換が行われている。また、会議で討議された内容をサービスの質の向上に活かしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>面会時には利用者の暮らしぶりや健康状態を伝え、家族からの意見や要望を聞いている。また、「苦情箱」等の設置体制等を確保すると共に、日頃から、家族が意見や要望を言いやすい雰囲気作りに努めている。金銭管理については、毎月定期的に出納帳の写しと領収書を送付し、報告するよう期待したい。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地元の人々との交流を大切にし、ホームでの花見等の行事に、地域の方を招待している。また、町の盆フェスティバル等の様々な行事への参加を行い交流をする等、地域の婦人会やボランティアグループとの交流を図っている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「やさしさ」を基本とした独自の理念をつくりあげている。また、地域密着型サービスの意義を理解し、地域の方々と「やさしい」を基に交流をする等、運営理念の実現を図っている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念は目のつくところに掲示し、管理者及び職員で共有しており、日常のケアで活かしていることがうかがえる。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町の盆フェスティバル等の様々な行事への参加を行い、交流をしている。また、地元の婦人会やボランティアグループとの交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び職員は評価の意義を理解し、自己評価は共に話し合っ、取り組んでいる。また、外部評価の結果も閲覧できるようにしている等、共有している。改善項目は、解決できるところから取り組んでいる。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの説明や状況の報告がなされている。会議での意見が、ホームのサービス向上への活動や地域の支援を得るための機会としている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町担当者は、運営推進会議の参加をする等、ホームにおける運営上の相談に対応できる関係が保たれている。また、関係者へホームの状況や取り組みを伝える等の活動をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時には、利用者の暮らしぶりや健康状態を伝えたり、緊急時には電話連絡を行っている。金銭管理については、定期的に報告をしている家族と、そうでない家族がいる。	○	金銭管理については、毎月定期的に出納帳の写しと領収書を送付し、報告するよう努めて欲しい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見・要望を聞く「苦情箱」の設置等の体制を確保すると共に、日頃から、家族が、意見や要望が言いやすい雰囲気作りに努めている。 家族等が、意見や要望などを負担なく表せるための、匿名のアンケート用紙の作成を期待したい。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を壊さないよう、職員の異動は必要最小限に抑えている。代わる場合は、早めに職員を配置し、引継ぎの期間を長く確保している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の段階に応じた研修計画を立案している。また、定期開催において内部研修を行うと共に、外部研修への参加の働きかけをしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の関係事業所の連絡協議会に参加し、ネットワークづくりや勉強会を通じたサービス向上の活動に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には十分に見学をしてもらっている。また、利用者の状態に応じて、自宅への外出・外泊を適宜に行い、職員やホームに馴染めるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員からの一方的なケアではなく、利用者の方に教えてもらう等、共に助け合う生活をしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話や表情、しぐさ等から、本人の思いや意向を把握するよう努めている。また、職員間で利用者の希望に添えるための話し合いを行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の意向を聞き、家族や職員との話し合いを行い、利用者の考えや思いが反映された個別の介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直し及び利用者状態の変化に伴った見直しをしている。家族や職員、関係者との十分な話し合いによる取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者・家族の要望や状況に応じ、家族の宿泊や外出等の支援は臨機応変に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医療機関以外にも、かかりつけ医の医療を受けられるよう支援している。なお、定期的に協力歯科医の往診を実施している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、家族の方に対して方針を説明すると共に、希望を聞いている。また、機会をみて、利用者・家族の意向に沿えるための話し合いを行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員から利用者の誇りを傷つけたり、プライバシーを損なうような言葉かけや対応はみられない。また、利用者の氏名や写真の掲示については、家族に同意を得ている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の心身状態の把握を行い、散歩等の対応は、利用者一人ひとりの生活ペースを大切に支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に食事を取るなど、楽しんで食事をしている。また、利用者個々の力量に応じ、食事の準備やあと片づけの手伝いをしてもらう取り組みをしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の回数や時間の定めはなく、利用者一人ひとりの心身の状態に応じた支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の好みや生活歴を活かし、豆の皮むき、洗濯物たたみ、メダカのえさやり等の役割や、楽しみの場を提供している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や季節に応じて、散歩や利用者と買い物に行く等、利用者の希望に沿った支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各居室や各ユニットの入り口には鍵はしていない。不穏症状がある利用者には寄り添い、安心できる対応をしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署や地域の方を交えての避難訓練を実施している。また、夜間の火災を想定した防火訓練の実施もしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々の食事摂取量を把握し、毎食記録している。また、水分摂取について、利用者に向けた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間にはソファ等、利用者それぞれの居場所が確保できるよう配慮している。また、自然の光、季節感を取り入れた花や装飾もあり、居心地よく生活できる工夫がなされている。 ホール等のフローリング材の汚れが目につくところがあった。外観的な印象と清潔を保つためにも、定期的なフローリング材の手入れに努めて欲しい。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドとクローゼットはホームにて準備している。利用者が使い慣れたテーブル、椅子、写真、装飾品などを持ち込み、その人らしい生活ができるように配慮している。		